

# 東京国立博物館 殿様の書と庭園散策



板額「蔟々閣」 松平不昧筆 1面 江戸時代・19世紀



毛利就隆任官状 1通  
江戸時代・元和2年(1616)



額「向峰」松平不昧筆 1面 江戸時代・19世紀

## 第1回目 「大名の書と残された古文書」

日時: 平成22年11月11日(木)

午前10時30分～12時30分

会場: 生涯学習センター 5階 研修室1

講師: 東京国立博物館調査研究課書跡・歴史室主任研究員  
高梨 真行(たかなし まさゆき)氏 足立区在住

## 第2回目 博物館秋の庭園茶室ツアー

※ガイド付

日時: 平成22年11月16日(火) 午後2時～3時

会場: 東京国立博物館 ※入館料¥500(団体割引料金)

〈集合場所: 上野駅公園口・午後1時40分〉

●募集人員 30名 (抽選) ●締め切り 10月29日(金) ●受講料1000円(全2回分)

共催 NPO法人あだち学習支援ボランティア「楽学の会」

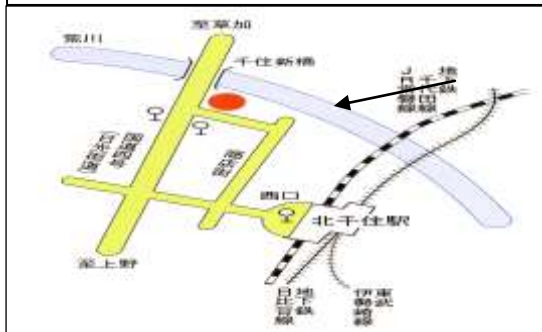
足立区生涯学習センター ・ 足立区教育委員会

申し込み方法は裏面をご覧ください

# 申し込み方法

- 会場 第一回：足立区生涯学習センター（足立区千住5-13-5） 5階研修室  
 第二回：東京国立博物館（台東区上野公園13-9）
- 受講料 1000円（全2回分、初日に会場でお支払いください）
- 定員 30名（抽選）
- 申込方法 往復はがきに、住所・氏名（フリガナ）・電話番号、  
 「殿様の書と庭園散策」と明記し、  
 下記へ郵送ください（連名可）
- 申込先 〒120-0034 足立区千住5-13-5  
 足立区生涯学習センター内 あだち区民大学塾事務局
- 問合せ先 電話&FAX：03-5813-3759（平日午後1時～5時）
- 申込締切 10月29日（金） 必着
- 共催 NPO法人あだち学習支援ボランティア「<sup>がくがく</sup>楽学の会」  
 足立区生涯学習センター  
 足立区教育委員会

**第一回：足立区生涯学習センター**  
**交通案内**  
 常磐線・東武線・日比谷線、千代田線・  
 つくばexp「北千住」下車徒歩15分  
 都バス・東武バス「千住四丁目」下車  
 徒歩 3分



**第二回：東京国立博物館**  
**<集合場所：上野駅公園口・午後1時40分>**



<チラシ表面のイラストの補足説明>（東博 高梨 講師）

**額「向峰」<sup>まつだいらふまい</sup> 松平不昧筆 1面 江戸時代・19世紀**

→松江藩主松平家の下屋敷は江戸高輪（品川区）にありました。その屋敷には庭園があり、不昧の趣味である茶道を反映して、多くの茶室がありました。この板額はその茶室に掲げられていたものです。

**毛利就隆任官状<sup>もうりなりたかにんかんじょう</sup> 1通 江戸時代・元和2年（1616）**

→武士社会は主君と家臣が主従関係を結ぶことで形成されてきました。特に主君の名乗りの一文字を家臣に与える「偏諱（へんき）」が行われてきました。この文字を記した文書は「一字書出（いちじかきだし）」と呼ばれます。同時に主君による家臣への官職授与も併せて行われました。これは徳山藩主毛利就隆（長州藩毛利家の分家）が元和2年（1616）に重臣の栗屋元智に「隼人佐（はやとのすけ）」という官職を授与した古文書です。

**博物館の茶室**



左の写真・イラストは東京国立博物館のHP掲載のもので、四季折々の花や紅葉に彩られる庭園があり、その中には5つの茶室があります。